

内視鏡画像診断支援システム
及び上部・下部ファイバー 1式

仕 様 書

令和7年9月
国家公務員共済組合連合会
新 別 府 病 院

【調達の背景】

国家公務員共済組合連合会新別府病院(以下、「当院」という。)は、今年で創立70周年の記念の年を迎えるが、初代病院長である中原典彦(故人)の没後20年の節目の年でもある。

昭和 59(1984)年に二代目となる黒岩英病院長が就任以降、脳神経外科の開設を皮切りに、RI 棟の完成(昭和 61(1986)年)、二次救急輪番並びにシネアンギオ棟の完成(昭和 62(1987)年)、泌尿器科の開設(昭和 63(1988)年)と確実に病院機能の拡充を推進、平成の声を聞く頃には経営も右肩上がりとなった。

平成 18(2006)年には三代目となる中村夏樹病院長が就任、3年後の平成 21(2009)年には念願の救命救急センターの誕生並びに三次救急病院の指定を受けるに至った。

平成 31(2019)年 4 月、四代目となる泊一秀病院長が就任、1 年も経たぬうちに未曾有のコロナ禍となり、苦勞の連続となったことは記憶に新しいところである。

そして今年 4 月より、大分大学を退官されたばかりの三股浩光病院長が五代目として着任されたところであるが、経営改善の指針はどれも斬新且つ明瞭なものであり、病院長のお考えになる未来構想にしっかりと応えることが用度課の使命であると心新たにしているところである。

この構想の中に、「医療 DX の推進」というものがあり、具体的な事例としては、AI による文字起こしシステムの導入(R7.9 導入済)、AI によるサマリー返書作成(電子カルテ更新後を予定)などが挙げられている。

この「医療 DX」の中核を成すものとして、病院長が就任当初より導入を目指していたのが、今回調達を予定する AI を搭載した内視鏡画像診断支援システムである。

このことを受けて、令和 7 年 5 月末よりオリンパスマーケティング(株)製、同年 7 月上旬に富士フィルムメディカル(株)製、そして同年 7 月中旬より(株)AI メディカルサービス製と順次、デモンストレーションを実施して機器の性能評価を行った。

有用性のみに焦点を絞れば、それぞれのメーカーに一長一短があったが、決定的な事由としてオリンパスマーケティング製は(株)は下部(大腸)内視鏡検査に、(株)AI メディカルサービス製は上部(胃)内視鏡検査に限定されており、此の点に於いて富士フィルムメディカル(株)製は、上部・下部共に AI 診断の有用性を確認することが出来ており、内視鏡室でも高い評価を得たところである。

また、三股病院長は単純に「医療 DX」の推進だけをお考えなのではなく、地域医療構想が目前に迫りくる中で当院の将来に思いを馳せ、「新規医療技術の導入」を図って、「診療科の増設・増員」を目指されている。

その代表的なものが「ロボット支援手術の導入」である。

当院の経営は令和 6(2024)年度決算の数字を見ても非常に厳しいところであるが、経営改善のためにやむを得ぬ「先行投資」との位置付けで、何とかやりくりしているところである。

また、古巣の大分大学では既に富士フィルムメディカル(株)製が導入されており、内視鏡室のみならず病院長の目にもこちらが止まったということである。

このようなことで、大筋仕様は固まったため、この程、入札を挙げる手筈が整った次第である。

なお、現在の内視鏡室は第一診察室から第五診察室まで 5 部屋あり、内、第一診察室から第四診察室までの 4 部屋が(株)オリンパスマーケティング(株)製の部屋で、第五診察室のみが富士フィルムメディカル(株)製の部屋となっているが、今回調達を予定する AI を搭載した内視鏡画像診断支援システムが先述の理由により富士フィルムメディカル製での調達を考慮すると、圧倒的にファイバーの本数がオリンパスマーケティング製よりも不足して

いるため、今回新たに、上部ファイバー並びに下部ファイバーをそれぞれ 1 本ずつ調達することとしたので入札に参加を予定する業者は上述する経緯を十分に理解の上、参加されたい。

1. 必要条件

入札時点で薬事法に定められている製造の承認を得ている医療機器であること。

2. 調達物品及び構成内訳

2-1. 内視鏡画像診断支援システム

- (1) 機能拡張ユニット EX-1 (専用電源ケーブル有) 1 台
- (2) 動画静止画保存・ネットワークプログラム EW10-SC01 1 台
- (3) 検出用上部内視鏡画像診断支援プログラム EW10-EG01 V2 1 台
- (4) 検出鑑別用下部内視鏡画像診断支援プログラム EW10-EC02 V2 1 台

2-2. 電子内視鏡システム

- (1) ビデオ軟性胃十二指腸鏡 EG-840TP 1 本
- (2) ビデオ軟性大腸鏡 EC-860P 1 本

以上の搬入、据付、調整等、使用可能な状態での引き渡しを受ける為の役務を含む。

3. 機器の機能、性能、規格等

3-1. 機能拡張ユニット【EX-1】は以下の条件を満たすこと

- (1) 専用の DVI ケーブルでの DVI 画像入力端子を 1 系統以上有すること
- (2) 専用の DVI ケーブルでの DVI 画像出力端子を 2 系統以上有すること
- (3) 内視鏡検査支援プログラム EW10-EC02 や通信基本ソフト EW10-EC01 をインストールすることで大腸内視鏡検査時におけるポリープの検出・鑑別を支援したり、内部メモリーに画像を保存したりすることができること

3-2. 動画静止画保存・ネットワークプログラム【EW10-SC01】は以下の要件を満たすこと。

- (1) 機能拡張ユニットに USB でインストールすることで使用可能なこと
- (2) 内部メモリーに画像を保存できること

3-3. 検出用上部内視鏡画像診断支援プログラム【EW10-EG01】は以下の要件を満たすこと

- (1) 機能拡張ユニットに USB でインストールすることで使用可能なこと
- (2) 食道扁平上皮癌疑い領域において、病変検出支援機能は LCI モードもしくは BLI モードで使用可能なこと

- (3) 胃腫瘍性病変疑い領域において、病変検出支援機能は白色光もしくは LCI モードで使用可能なこと
 - (4) ランドマークフォトチェッカーは、白色光もしくは LCI モードで使用可能なこと
- 3-4. 検出・鑑別用下部内視鏡画像診断支援プログラム【EW10-EC02】は以下の要件を満たすこと
- (1) 機能拡張ユニットに USB でインストールすることで使用可能なこと
 - (2) 病変検出支援機能は白色光モードもしくは LCI モードで使用可能なこと
 - (3) 病変検出支援機能はビジュアルアシストサークル・報知音・検出ボックスを用いて支援することができること
 - (4) 病変鑑別支援機能は BLI モードで使用可能なこと
- 3-5. ビデオ軟性胃十二指腸鏡【EG-840TP】は以下の要件を満たすこと
- (1) 視野角が 140° 以上、視野方向が直視であること
 - (2) 先端部外径が 7,9mm 以下、軟性部径が 7,9 mm以下であること
 - (3) 鉗子口最小径が 3.2mm であること
 - (4) ウォータージェット機能を有すること
 - (5) 撮像素子に高解像度 CMOS センサーを採用し、ハイビジョン画質を描出できること
 - (6) 狭帯域光強調観察及び特殊光色彩強調観察が使用可能であること
- 3-6. ビデオ軟性大腸鏡【EC-860P】は以下の要件を満たすこと
- (1) 視野角が 140° 以上、視野方向が直視であること
 - (2) 先端部外径が 11.5mm 以下、軟性部径が 11,5 mm以下であること
 - (3) 鉗子口最小径が 3.2mm であること
 - (4) ウォータージェット機能を有すること
 - (5) 撮像素子に高解像度 CMOS センサーを採用し、ハイビジョン画質を描出できること
 - (6) 狭帯域光強調観察及び特殊光色彩強調観察が使用可能であること

以上